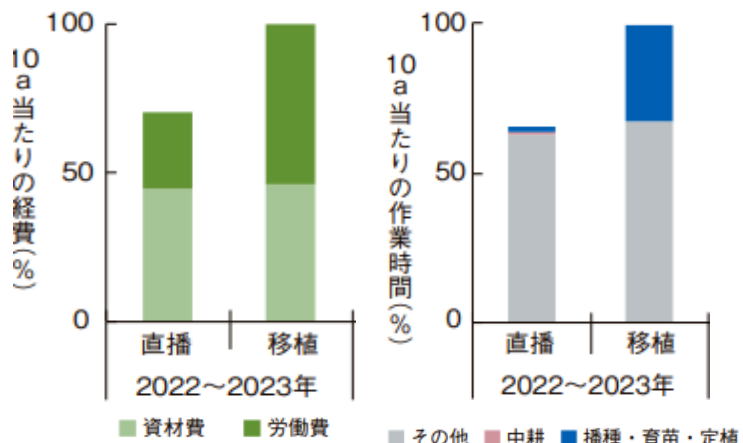


＜タマネギ直播栽培技術の特長＞

○育苗や移植にかかる資材・施設・機械が不要、作業時間も短縮可能な低コスト・省力な栽培技術

直播栽培の特長(移植栽培との比較)

- 育苗・定植の経費削減
(移植より**約30%削減**)
- 作業時間の削減
(移植より**約35%削減**)
- 根張りが旺盛で、**球肥大が良好**
- 育苗に要する資材・機械・技術が**不要**



※ 全農 営農・技術センター 農産物商品開発室データ

※ その他項目には、圃場準備・施肥・除草・病虫害防除・収穫調整が含まれる

※ 直播では育苗・定植が無いいため、グラフ通りの作業時間の削減が可能

栽培上のポイント

- 収穫時期は移植栽培とほぼ同じ
- 播種適期は**移植栽培より遅め(半旬程度)** ※産地・品種による
- 播種前**(ラウトアップ)、**播種後**(グラメックス・ゴ-ゴ-サ)、**生育期**における除草の徹底
- 播種するまでに**碎土率70%**を理想とする
※碎土率：直径2cm以下の土塊の重量割合

おすすめ播種方法

- 農研機構が開発し、農研機構・クボタ・全農で有効性や製品化を進めた、**畝立て同時播種機**(右写真)
(畝立て、直下施肥、溝底播種、農薬散布が同時に可能)
- 畝を成形し同時に溝底へ播種を行うため、**省力的かつ発芽も安定する**
- リン酸直下施肥が可能で、**初期生育と収量が向上**
- トラクタアタッチの4条播種機でも播種が可能

